

令和2年度（2020）

学校関係者評価報告書

学校法人穴吹学園

穴吹調理製菓専門学校

# 学校関係者評価報告書

学校法人穴吹学園 穴吹調理製菓専門学校 学校関係者評価委員会は、令和2年度学校自己評価に基づく学校関係者評価を実施いたしましたので、ご報告いたします。

令和3年3月31日

学校法人穴吹学園 穴吹調理製菓専門学校  
学校関係者評価委員会

## 1. 学校関係者評価の目的

より実践的な職業教育の質を確保するため、教育活動の観察や意見交換等を通じて穴吹調理製菓専門学校の自己評価の結果を評価することを目的とした委員会を置く。

委員会は、穴吹調理製菓専門学校が行なった教育活動及び学校運営の状況についての自己評価の結果を踏まえた本校の評価を行い、その結果を校長に報告する。

## 2. 学校関係者評価委員会

(委員)

村上 勝彦	広島県洋菓子協会副会長 (エルブラン松月堂 代表取締役)
田淵 浩	サンクラフィューコ オーナー
竹内 和雄	キッチンハウス タケウチ オーナー
田島 建彦	元高等学校校長
山本 啓文	卒業生 (やまもと商店オーナー)

(学校教職員)

藤井 悦子	穴吹調理製菓専門学校 校長
信岡 誠三	穴吹調理製菓専門学校 副校長
村上 主典	穴吹調理製菓専門学校 教務部長
高橋 克行	穴吹調理製菓専門学校 教務課長

## 3. 学校関係者評価委員会実施日時

開催日時 令和3年3月31日(水) 14:00~15:10

開催場所 穴吹調理製菓専門学校校舎2階レストラン実習室

## 4. 自己評価結果の説明・報告 (自己評価報告書参照)

当校の「教育理念」、「目的」及び「令和2年度の目標と計画」について説明。

各自己評価項目に関し「評価結果 (総括)」、「取組状況とその分析」、「今後の改善方策等」について報告。

各評価項目について、「A」十分である 「B」おおむね十分である 「C」やや不十分である 「D」不十分である の4段階にて評価。

## 5. 意見交換・質疑応答

### ①資料確認

### ②自己評価報告書

- ・「3-3 社会や業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みがされていますか」に関し、入学前に「入学前教育」教材、入学後は「学びラボ」の授業を実施している旨を説明。
- ・「3-12 地域と協力、連携した教育を行っていますか」に関し、R2年度は一部の学科でインターンシップ実施を見送り、次年度の夏に実施予定である旨を報告。
- ・「④学修成果」について、製菓衛生師試験の合格率が70.4%だったことを報告。
- ・「5-5 学生相談に関する体制は整備されていますか」に関し、平成29年度より、学生、教職員のカウンセリングルームを設置している旨を報告。
- ・「5-9 生活環境支援体制を整備していますか」に関し、令和2年度より女子寮を廃止し、留学生向け寮とした旨を報告。
- ・「5-12 卒業生への支援体制を整備していますか」に関し、希望に応じて卒業証明書・履修証明書の発行を随時行っている旨を報告。
- ・「10-3 学生の地域との交流を奨励・支援していますか」に関し、福山調理師会から声をかけていただき、調理師試験対策講座の講師手配や教材手配を行なっている旨を報告。
- ・「⑩国際交流」について、令和3年度新設の「国際調理学科」に5名入学予定である旨を報告。
- ・年度目標の状況
  - I 入学目標65名以上、捕捉率55%以上
    - ・・・ 入学予定者71名（目標達成）、捕捉率76%（目標達成）
  - II 退学率3%未満
    - ・・・ 退学率5.3%（目標未達成） 95名中5名退学
  - III 2月末就職100%の達成
    - ・・・ 3月5日に最終内定者（目標未達成）

### ③情報交換

- ・製菓衛生師試験の合格率について。
  - 昨年より若干上がったが、高松・徳島の合格率が100%なので、福山も100%に近づけてほしい。
- ・パティシエ・ベーカリー学科にパソコンを使う授業を検討してほしい。
  - 卒業前の時期でよいので、簡単なパソコン操作ができるようになってほしい。
  - 高校までにパソコン経験がある場合とそうでない場合の個人差が大きく、苦勞する人が多い。
- ・コロナ禍の中で就職先はどうだったのか。
  - ホテルからの求人は例年とは大きく異なり、ほとんど求人をいただけなかった。
  - 特に関西方面からの求人が激減した。
- ・離職の調査はしているのか。
  - 離職調査は今後実施予定である。
- ・学生にも2パターンいるようである。
  - サラリーマン系の学生。お金の面を気にする。
  - ハングリー系の学生。お金よりも中身を重視する。
  - 在学中にお金をもらうということはどういうことかを教えておいてほしい。
  - 仕事をしながら教わりたいと思っている人が多い。
- ・先生のレシピを広く公開してもよいのではないか。
  - 「ホームページでレシピを紹介する」や「レシピ集の本を出す」。

貴重なご意見を賜り誠にありがとうございました。これからも皆様のご期待に添えますよう、教職員一同、日々努力してまいりますのでよろしくご意見申し上げます。

以上